

令和6年度

奈良市立看護専門学校

推薦入学試験問題

国語

試験時間 50 分（問題 1～17）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机には、受験票、筆記用具以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、**下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入**し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏名

--

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

歌の口調がいいとか悪いとかいう事の標準が普遍的に定められるものかどうか、これは難しい問題である。この標準は時により人により随分まちまちであってその中から何等かの法則といったようなものを抜き出すのは容易な事とは思われない。Ⓐ

しかし個人的には、たとえそれは自覚されないにしても、何かしら自ずから一定の標準をもっていて、それに当てはめて口調の善し悪しを区別している事だけは否定し難い事実である。

それでも各個人の標準を分析的に研究して、何等かの形でその要素といったようなものを抽出する事が出来れば、次には色々の個人の要素を総合して、(ア) やや普遍的な法則を求める事が出来そうにも思われる。Ⓑ

(イ) 口調というものの最も主要な要素の一つは時間的のリズムであるが、和歌や俳句のようなものでは、これは形式上の約束から既にある範囲内に規定されている。もちろんその範囲内でも、例えば七、五の「七」を三と四に分けるか二と五に分けるかというような自由があるのでそれらのコンビネーション、パーミュテーションでかなり複雑な変化が可能になる。

しかし、この要素は最も純粋な音楽的の要素であってこれを研究するには勢い広く音楽やまたあらゆる詩形全体にわたって考える事が必要になる。これはなかなか容易な仕事ではない。

次に重要な要素は何と言っても母音の排列である。Ⓒ

(ウ) 母音の重要な事には根本的な理由がある。一体口調の引き起こす快感情緒といったようなものは何処から来るかという、ちょっと考えた処では音となって耳から入る韻感の刺激が直接に原因となるように思われるが、実は音を出す方の口の器官の運動に伴う筋肉の感覚を通じて生ずるものである。立入った理論はぬきにして、試みにある一つの歌を一遍声を立てて、読み下した後に、今後は口をむっと力を入れてつぶって黙読してみるといい。あるいはもっと面白いのは口を思い切ってあんと開いて黙唱してみるといい。するとせつかくの歌の口調が消えてしまって「ム、、、、」とか「ア、、、、」とかいう妙なものになってしまう。(エ) 今度は声を立てないで口を自由に且つ充分に動かして読む真似をしてみると、その歌の口調のあらゆる特徴が驚くほど鮮明に頭に響いて来るのである。その際における口のまわりの運動の仕事の大部分が何に使われるかと思ってみると、それは各種の母音に適応するように口腔の形と大きさを変化させるために使われているのである。そしてこういう声を出さずに口だけ動かす読み方では子音を発するに必要な細かい調節はよほど省略されている。言い換えてみると、ただ母音だけを出す真似をすれば歌の口調の特徴がかなりよく分るのである。Ⓓ

それでも各種母音に相当する口腔の形状大きさを規定する若干の数量が定められれば、歌の口調というものはこれらの量を時間の関数として与える数個の方程式で与えられることになるので、従って口調というものの科学的研究がとにかくも可能になる訳である。

こういう事を完全に仕遂げる事はなかなか容易な事ではないが、(オ) そういう方向への第一歩として、私は試みに次のような事を考えてみた。

先ず従来例にならって母音をイエアオウの順に並べる。そしてイからウに至る間に唇は順に前方に突き出て行くものとする。また唇の開きはイからアまで増し、アからウへ向ってまた減ずると仮定する。Ⓔ

今唇の前後の方向の位置をXで表わし、唇の開きをYで表わすとすると、イエアオウと順に発音する場合にXYで表わされる直角座標図の上の曲線はざっと半円形のようなものになる。次にXYの面に垂直なZ軸の方向に時間を取る。そうすると色々の母音を順々に発音する状況は一つの空間曲線として表わされる。その曲線は前に言った半円形を基とした半円筒の面の上をあちこ

ち動きながらZの方向に延びて行くのである。

実際にこういう空間曲線を作る事は厄介であるから、その代りにこの曲線をXZ面とYZ面に投射したものと二つを描いて調べる外はないのである。

こんなような考えから、私はいつでも先ずこのXZ面の射影、すなわち唇の出方のいろいろと変る方だけを二、三十首の歌について描いてみた事がある。手近な歌集の中から口調のいいと思うのと、悪いと思うのを選び分けて、おのおのに相当する曲線を描いてみて両者の間に何か著しい特徴が線の上から見えるかと思って調べてみた。何しろ僅少な材料であるから何事も確かな事は言われないが、ただ一つ二つ気の付いた事がある。

この曲線は上がったたり下がったり、不規則な波状を描いているが、この波の一つの峰から次の峰までの文字数がかかなり広い範囲内で色々に変っている。このような波の長さの長いのが多ければ峰の数が少なく、波が短ければ峰の数が多くなるのはもちろんである。

先ずこの波の峰の数を数えてみると、この数のあまり多いのやあまり少ないのはどうも口調があまりよくないらしく思われる。

それから波の長さがあまり一樣なものもいけないらしい。

私の調べた中で口調のいいと思ったのには、初めに長い波がつづいて終りに短いのがあるか、あるいはその反対の多いようであった。

もっと沢山の材料について調べてみたいと思ったきりでそのままになっている。

そしてもう一方YZ曲線の方はまるで手をつけないでしまったのである。

もし出来るならば、多数の歌人が銘々に口調のいいと思う歌を百首くらいずつも選んで、それらの材料をひとまとめにして統計的に前述の波数や波長の分配を調べてみたら何かしら多少ものになるような結果が得られはしないかと考えるのである。

(カ) このような研究はあるいは実験心理学上の一つの題目にならない事もなさそうに思われる。あるいはもう誰か試みた人があるかも知れないと思われる。

もっともこういう研究が仮に出来上がったとしたところで多くの歌人には何の興味もない事ではあるかも知れないが、しかし歌人にして同時に科学者であるような人にとっては少なくとも消閑の仕事としてこんな事をつついてみるのも存外面白いかも知れない。

口調がよくてもいい歌とは限らず、口調が悪くてもそのために却って妙味のある歌もあるかも知れないが、歌の音楽的要素を無視しない限り口調の研究は一般の歌人にも無駄な事ではないであろうと思う。
(寺田寅彦「歌の口調」による)

問題 1 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の(A)~(E)のうちから一つ選択せよ。

もちろん子音の排列分布もかなり大切ではあるが、日本語の特質の上からどうしても子音の役割は母音ほど重大とは考えられない。

1 (A)

2 (B)

3 (C)

4 (D)

5 (E)

問題2 空所（ア）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 客観的に 2 帰納的に 3 演繹的に 4 常識的に 5 学術的に

問題3 下線部（イ）「口調というものの最も主要な要素の一つは時間的のリズム」とあるが、これに関する記述として、最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 和歌や俳句では、時間的のリズムは一つに決まっている。
- 2 時間的のリズムが規定されていても、組み合わせによって複雑化する。
- 3 時間的のリズムは最も純粋な音楽的の要素であり、歴史が古い。
- 4 対象とする音楽や詩形の範囲を狭めることで時間的のリズムの研究も可能である。
- 5 音楽や詩形全般を調べると、時間的のリズムはやがて一つに行き着く。

問題4 下線部（ウ）「母音の重要なという事には根本的な理由がある」とあるが、その理由とはどのようなことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 口調の善し悪しの原因となる、耳から入る韻感の刺激に対して子音は効果を発揮しないから。
- 2 音となって耳から入る韻感の刺激を分析すると、子音に比べて母音の方が大きな口調の快感を引き起こすから。
- 3 口調の快感は口を自由に動かすことで生じるのであり、その際に子音の排列は口の器官の運動に全く影響を及ぼさないから。
- 4 母音を声に出して発することで、口腔の形と大きさを変化させることが口調の善し悪しを決めるから。
- 5 口調の快感を引き起こす口の器官の運動に伴う筋肉の感覚は、大部分が母音に適応するように使われているから。

問題5 空所（エ）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 そこで 2 したがって 3 すなわち 4 ところが 5 また

問題6 下線部（オ）「そういう方向」とはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 歌を詠む際に、子音を発するのに必要な細かい調節を省き、母音だけを出す真似をすることで、口調の特徴を明らかにすること。
- 2 各母音に相当する口腔の形状大小を規定する数量を定めることで、その量と時間の関数を与える方程式を導き、口調の引き起こす快感情緒の原因を決定づけること。
- 3 各母音に相当する口腔の形状大小を規定する数量を定めることで、その量と時間の関数を与える方程式を導き、母音の排列が口調の善し悪しを左右することを立証すること。
- 4 各母音に適応する口腔の形状大小を数値化し、その量と時間の関数を与える方程式を導くことで、口調の善し悪しの法則を導くこと。
- 5 各母音の発音方法や位置から、音声の高さ、音量、音色といった声の質や特徴を特定し、口調の善し悪しの法則を導くこと。

問題7 下線部(力)「このような研究」とあるが、これに対する筆者の考えとして、最も適切なものを一つ選択せよ。

- 1 実験心理学上におけるいくつかの手法を踏襲して行った研究である。
- 2 筆者自身だけではなく、各歌人が口調のいいと思う歌を選び同様に分析すれば、より発展した結果が得られる。
- 3 多くの歌人にとって興味を持たれない研究であるため、完成しても実用的価値をもちえない。
- 4 口調の善し悪しは、歌自体の善し悪しにつながるため、口調の研究は歌の向上に貢献する。
- 5 筆者自身の研究は、材料が少なかったために頓挫している。

問題8 本文の内容と合致する記述として最も適切なものを一つ選択せよ。

- 1 歌の口調の善し悪しに関する標準は、タイミングや人によって異なるものである。
- 2 口調における最も主要な要素は時間的なリズムであり、和歌や俳句が心地いいのはこれによるものである。
- 3 黙読や黙唱をした際に、母音の排列による効果は最も発揮される。
- 4 口腔の形状大小を規定するためには、まず唇の前後方向と開きを分析しなければならない。
- 5 筆者の研究では、波の峰の長さは長かったり短かったりすると口調がよくなかった。

第2問 次の各問いに答えよ。

問題9 下線部の漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 土砂(どしゃ)崩れになった現場に向かう。
2 彼女は律儀(りつぎ)な性格だ。
3 新店舗が繁盛(はんせい)する。
4 幕末(まくまつ)史を読む。
5 仁王(じんおう)立ちになって見下ろす。
- (2) 1 お墓に花を供(そ)える。
2 彼は気宇(けう)壮大な人だ。
3 穀倉(こくそう)地帯が一面に広がる。
4 友人は朗(あき)らかに笑った。
5 首位を奪還(たっかん)する。
- (3) 1 傷口(しょうこう)から血が出る。
2 我先(がぜん)に退散する。
3 食べごろに熟(じゆく)れたメロンを収穫する。
4 布団(ふとん)を押し入れにしまう。
5 石灰石(せきたんせき)はセメントの主たる原料だ。

問題10 下線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 膨聴席で裁判を見守る。
2 友人と絶叫マシーンに乗る。
3 古い建物が到壊する。
4 礼義を身につける。
5 仲間に全福の信頼をおく。

- (2) 1 炊奏楽コンクールに出場する。
 2 セーヌ川からエッフェル棟を眺める。
 3 憤火警戒レベルが上がる。
 4 暗闇の恐怖におののく。
 5 寝防をして電車に乗り遅れる。
- (3) 1 自然破壊を食い止める。
 2 可久的すみやかに水分をとる。
 3 彼は我々のチームの主峰として期待されている。
 4 世界政服を目論む。
 5 仕事に亡殺されて、自分の時間が持てない。
- (4) 1 被岸に墓参りをする。
 2 キリスト教を信興する。
 3 富士山は日本を象徴する山だ。
 4 緯業を成し遂げる。
 5 性名判断を行う。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 小型セン舶の免許を取得する。
 1 選手セン誓を行う。
 2 消火センを設置する。
 3 新センな魚が店頭に並ぶ。
 4 新幹センを間近で見る。
 5 豪華客センで世界一周の旅をする。
- (2) 彼女の発言は心ガイだ。
 1 ガイ虫の駆除を依頼する。
 2 ガイ灯の明かりが消える。
 3 ガイ注費を計上する。
 4 生ガイにわたり学び続ける。
 5 会議のガイ要を説明する。
- (3) 子どもをタク児所に預ける。
 1 洗タク物をたたむ。
 2 業者に作業を委タクする。
 3 彼はタク越した才能をもつ。
 4 新しいジャンルを開タクする。
 5 身支タクを整える。

問題 12 次のうち「適宜」の同意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 随意 2 確立 3 規制 4 協議 5 緊密

問題 13 次のうち「悪化」の反意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 善意 2 良心 3 温厚 4 好転 5 気長

問題 14 次の語句の意味として正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) バックオフィス

- 1 賃貸料をとって貸し出される事務所。
- 2 金融機関や行政機関で、顧客や住民に直接的に接することのない内部業務部門。
- 3 オフィスと通信回線で結び、自宅や職場以外のさまざまな施設で仕事をする事。
- 4 オフィス内で、従業員の席を固定化せずに、空いている席を自由に利用できるスタイル。
- 5 オフィスなどでの共同作業を総合的に行うためのソフトウェア。

(2) 虫の知らせ

- 1 夢中になっていた気持ちが弱くなること。
- 2 物事に熱中して心を奪われること。
- 3 質の高いものを見分ける能力があること。
- 4 物事が漠然としていて、つかみどころがないこと。
- 5 根拠がないのに、何となく心に感じる不吉なこと。

(3) 一炊の夢

- 1 いったん喜んだのに、実はまちがいとわかって喜んだことがむだになり、がっかりすること。
- 2 新しい運命を切りひらくたとえ。
- 3 望んでも実現できないことのたとえ。
- 4 人の世や人の一生の栄枯盛衰が、夢のようにはかないことのたとえ。
- 5 心配しなくてもよいことをくよくよ心配すること。

(4) 小春日和

- 1 広々として見晴らしのよいこと。
- 2 晴れ渡った青空に太陽が輝いていること。
- 3 冬の初めの時期の、春のように暖かい気候のこと。
- 4 自然の美しい風景のこと。
- 5 だんだん暖かくなって、春が近いこと。

(5) 他言無用

- 1 ある話を他人に漏らしてはならないということ。
- 2 ことばには言い表せないほど、程度がひどいこと。
- 3 親しい間柄なのに、親しくないように、よそよそしく振舞うこと。
- 4 話し合っても無意味、むだであること。
- 5 非常識で困難な要求のこと。

問題 15 次の意味を表す言葉として正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 保留すること。

- 1 ケースバイケース
- 2 ステレオタイプ
- 3 ジレンマ
- 4 ペンディング
- 5 レッテル

(2) 人の頼みや相談などを、冷淡に拒絶するようす。

- 1 襟を正す
- 2 頭が上がらない
- 3 大きなお世話
- 4 恩を仇^{あだ}で返す
- 5 けんもほろろ

(3) 他人の力に頼らずに、自分の信じる道を進んでいくこと。

- 1 五分五分
- 2 独立独歩
- 3 自己暗示
- 4 少数精鋭
- 5 紳士協定

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 会社は多額の赤字を抱えて、首が回らない状態だ。
- 2 今年の採用活動も、早い時期から青田刈りが始まっている。
- 3 弘法にも筆の誤りで、高価な楽器を使用すれば誰でも上手に演奏できるわけではない。
- 4 今後もよりいっそうのご愛顧を承りたく、お願い申し上げたい。
- 5 彼は青二歳だから、これからもまだまだ勉強が必要だ。

問題 17 次の記述に当てはまる人物として正しいものを一つ選択せよ。

『舞姫』の後二十年を経て、人の醜い部分ばかりを描いた自然主義と呼ばれる作品に反発し、夏目漱石の活躍に刺激を受けて執筆をはじめ。『青年』『雁』の後、歴史上の人物に新しい解釈を加えた歴史小説を書き、文学として確立した。

- 1 紀貫之
- 2 宮沢賢治
- 3 森鷗外
- 4 芥川龍之介
- 5 太宰治

以 上